

<p>後 期</p>	<p>伝えよう日本の音楽 越天楽今様 (鑑)春の海</p> <p>音楽に思いをこめて (鑑)交響曲第9番 「新世界より」 家路 ふるさと</p> <p>さようなら (鑑)別れの曲 音のスケッチ 音楽ランド 君が代</p> <p>ラストコンサートの曲 卒業式の歌</p>	<p>を意識し、聴き合いながら演奏を楽しむ。 日本の伝統的な旋律の特長を生かし、歌詞の表す情景を思い浮かべながら表現する。 箏や尺八の音色や奏法の特徴を感じ取りながら、楽曲の構造に気を付けて聴く。 作曲者の思いを想像しながら、楽曲を味わって聴く。</p> <p>歌詞の内容を味わい、言葉を大切にしながら楽曲に込められた思いを感じ取って歌う。 楽曲の盛り上がりを感じ取って聴いたり、歌ったりする。</p>
----------------	--	---

上記の曲以外にも、歌やリコーダーの教材などを実態に応じて取り入れます。

評価について

次のような方法を総合的に組み合わせて評価していきます。

音楽への関心・意欲・態度

毎時間の授業で歌唱・楽器演奏・発言・学習プリント・準備物などから評価します。

音楽的な感受や表現の工夫

歌やリコーダー演奏・合奏の際、表現の方法を考え演奏のしかたを工夫しているかを、授業での様子や演奏の発表などで評価します。

表現の技能

個別の技能テストや演奏の発表などで評価します。

鑑賞の能力

鑑賞の様子や身体表現、鑑賞後の意見や感想、学習プリントへの記入などから評価します。

学習プリント、歌やリコーダーの発表会、ペーパーテスト、学習の様子などで評価し、子ども達のやる気や学習指導に生かしていきます。